

# 北日本精機の小林英一会長が

## 経産省の「永年貢献創業者」受彰

芦別市を拠点にベアリングを生産している北日本精機株式会社の小林英一代表取締役会長が、6月13日、経済産業省から「永年貢献創業者」として感謝状を授与されました。

これは、2006（平成18）年度か

ら経済産業省が行っている、「元気なモノ作り中小企業300社」の選定が10年の節目を迎えたことから、長く活躍を続け、地域経済に貢献している経営者を表彰するもので、全国で11人、北海道内からは小林氏がただ1人選ば

れました。北日本精機株式会社は、2006年度に「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれています。

小林氏は、1966（昭和41）年に、芦別市で北日本精機を創業。直径40ミ以下の特殊小型、薄肉・極小ベアリングに特化して、積極的に海外市場を開拓。現在は欧米を中心に海外35か国に輸出し、小型、極小ベアリングでは世界シェアの7割を占めています。その用途は、医療機器や光学機器など幅広い分野に広がり、「EZOベアリング」として世界から高い信頼を得ています。

木質チップボイラーで暖房、給湯を行う移住者専用住宅



開館に向けて準備が進む、写真家・清水武男氏の作品を集めるギャラリー（にしあしの里）で、小林英一会長

## 経営陣頭指揮の傍ら 地域の文化向上にも尽力

小林英一氏は、2011（平成23）年に会長就任後も変わらず経営の第一線で指揮を執っています。

その一方で、旧西芦別中学校体育館を私設美術館として開設し、無料で開放・公開しているほか、旧西芦別小学校校舎を昨年リニューアルし、小樽市出身の写真家・清水武男氏（故人）の作品を集めて写真ギャラリー開設の準備を進めています。また、市の移住・定住促進事業にも協力し、かつての炭鉱住宅跡地に移住者専用住宅を建設、地域人口拡大を図っています。

今回の表彰について小林会長は、「たいへん

ありがたいことで、うれしく思っています。創業当初から世界中を飛び回り、市場開拓に努めてきました。さまざまな苦労がありました。ここまで企業が成長してこれたのも、芦別の美しい自然環境と地域の皆さんの支援があったからこそ。これからは、地域の雇用を守るのほもちろんのこと、ここで暮らす皆さんが心豊かに暮らせるよう、地域づくりにも努めたいと思っています」と話していました。

